



同志社東京ジャーナル

DOSHISHA
TOKYO
JOURNAL

No.101

同志社創立140周年記念
同志社フェア in 安中 地域交流イベント

2015年8月30日 於：新島学園礼拝堂



INDEX

歴代東京支部長・東京校友会会長・事務局長・
代表幹事・編集長 あの頃その時
学校法人同志社大谷實総長、校友会井上礼之会長
からのお祝いメッセージ

関東・甲信各県支部長からのメッセージ

直撃インタビュー！東京校友会と東京ジャーナルは
いかにして作られたのか

東京校友会に関わる各団体からのメッセージ

企業内校友クラブ・年次会の方々からの
メッセージ&アンケート

「幻の春の集い」と3・11 東日本大震災

同志社と東京校友会のあゆみ
同志社東京ニュース・東京ジャーナル 100号のあゆみ

校友紹介・校友訪問

企業内校友クラブ（クローバー会）

懇親会と春の集い
同志社フェア in 安中 レポート

永久保存版

創刊 100 号突破記念特大号

表紙写真

同志社創立140周年記念～新島裏ゆかりの地～

同志社フェア in 安中

同志社グリークラブと新島学園聖歌隊のジョイントコンサート

関連記事：24 ページ

同志社東京校友会



長野県
支部

若手会員の増加への挑戦

支部長／内山洋（昭47年文）

諸先輩の母校愛に満ちたご意
志を受け、四半世紀の間脈々と
継続された取り組みに、大いな
敬意を表すものでございます。

長野県は地形的に四つの平に
分断されて交通の便も悪く、
支部全体の活動は難しい環境に
あります。それでも年一度行わ
れるラクビー伊那大会では、支
部として現役学生を支援しな
がら同時に会員の交流も促進
しています。他には長野と松本
を中心とした暑気払いや新年会等
を通して相互の理解を深めてい
ます。



長野県支部は、新島裏ゆかりの地において校友会活動をしております。ご縁があり、この地域と周辺に在住する校友達が、折に触れて集まり、様々な行事を企画し、実行しています。

また同志社フェアin安中では、延べ千名を越える盛大なイベントとなりました。ご協力に厚く御礼申し上げます。

東京ジャーナルは、今後とも関東甲信地区の広報誌として益々、その価値を高めて下さい。

内3名が新幹事として活躍中です。また当支部には、裏ゆかりの終焉の地大磯と、帰港の地横浜があります。地域交流事業として、今年は裏が愛でたカタルバの苗木を1月に二宮徳富蘇峰館、4月に大磯町運動公園に植樹寄贈。来年は終焉の地碑前祭後に地域交流講演会＆コンサートを開催予定です。

他に総会・懇親会、二つの歩こう会を開催しています。

山梨県支部は、設立三年、同志会との協力でより充実した活動を目標としています。

山梨県支部も設立後三年目に入り、会員数も現在80名をこえました。また、同志会とも協働して運営しています。

支部では総会の他、春、秋の集い、夏の暑い支部としての取り組みも進め参りたいと考えております。

このように支部として歩んでいるのも東京校友会の皆様のご協力やアドバイスのお蔭と、深く感謝しております。これからもよろしくお願いいたします。

DHC 通販化粧品・健康食品売上 No.1

DHCが開発した『薬用Qシリーズ』は、薬用成分と10倍濃度^{※2}のコエンザイムQ10を配合したスキンケア。多くの肌に愛されて、売上個数1600万個^{※3}を突破しました。これからもDHCは、日本最大級の通販化粧品・健康食品企業として、お客様が美しく輝く毎日を応援いたします。

株式会社DHC 〒106-8571 東京都港区南麻布2-7-1 代表取締役会長兼CEO 吉田嘉明（昭和40年 文学部英文科卒）

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

SOMPOホールディングス

①「損保ジャパン日本興亜クローバー会」把握出来ている全国の会員数は109名。名簿は更新中で、さらに増える見込みです。

②本会を通じて、幅広い年齢層の卒業生が、社内の人脈構築の場を持つことが出来るようになしたいと考え設立。活動は、6月に新入社員歓迎会と12月に情報交換会を毎年開催しています。



③クローバー会は、毎年東京で開催していますが、人事異動が多く、さらに全国展開のため、全員の参加が難しいことと、名簿は随時更新していますが、その整理と集約に苦慮しています。

④クローバー会は年齢、役職、部門を超えて情報交換が出来るため、社内の人脈構築に非常に有益です。さらに、同窓の集いということで、昔を懐かしみながらも、会社生活を初心に戻つて「頑張ろう」という気持ちになれることです。

文責／倉本久司(平2年・商)

住友生命東京同窓会

住友生命は創業から100年の時を超えて「住友」の信頼と「お客様の人生を守る」という使命感をもって、歩み続けています。

住友生命では、同志社出身で大阪・東京近郊に勤務している職員を中心にそれぞれ「同窓会」、「東京同窓会」を年に1度開催しています。幹事は伝統的に入社4~5年目の職員が担当し、会を運営しています。今年の「東京同窓会」は7月に我が同志社の先輩が経営される、銀座がんこ寿司で開催され、総勢40名の入社1年目若手から大先輩まで幅広い年齢層の皆様に参加いただきました。参加メンバーの所属部署もリテール部門からシステム、運用部門と多岐に亘り、懇親の場のみならず、仕事における情報交換の場にもなっており、「同志社」という繋がりがきっかけで、社内での連携強化や人脈構築に役立っています。

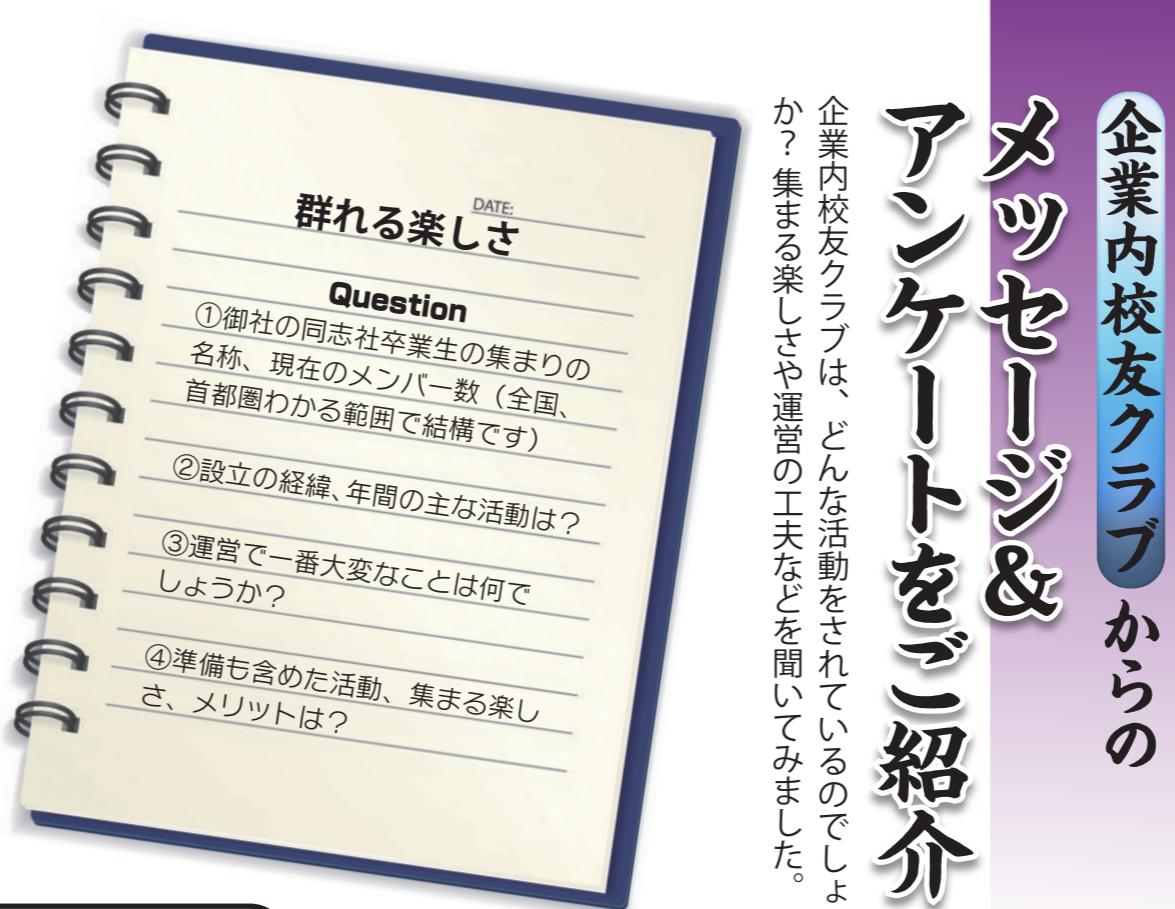
また毎年7月は、4月に入社した同志社卒の新人諸君が3ヶ月間の本社研修を終え、全国の住友生命の「支社」へ配属される時期となります。新人にとっては初めての配属を控え、不安で緊張している中ではありますが、会を通じて先輩方からあたたかいアドバイスをいただくことで、激励されてから支社へ配属されることが毎年の恒例となっています。

1年に1度という機会ではありますが、毎年、会が終わると「同志社卒業で良かった」という誇らしい気持ちになります。今後もこの同窓会は、「同志社人」としての自覚と誇りを胸に、生命保険業界での活躍を誓い合う場として発展させていきたいと思います。

文責／石黒慎也(平23年・商)



左 東京同窓会幹事の皆さん
石黒慎也さん、原口耕治さん
右 久周二さん



企業内校友クラブからのアンケートをご紹介

企業内校友クラブは、どんな活動をされているのでしょうか？集まる楽しさや運営の工夫などを聞いてみました。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



①あいおいニッセイ同和クローバー会。会員数首都圏140名、関西圏約100名、他地域約110名計350名。

②2010年会社の合併・新会社スタートに際し、社員間の色々な繋がりを持つことが大切と、発起人が集まり東京で結成しました。その後関西、中部に地域幹事団を組織して、それぞれのエリアで年に1回の総会・懇親会、毎年4月に新入同窓生の歓迎会、幹事会を年に2~3回開催しています。

③まずは連絡網と名簿管理等会員情報のメンテ。第二に、会社生活においては職場以外の縁を広げていくことが公私ともにプラスになると思いますが、それを若手に伝え、感じてもらえる企画・活動が不十分。洛紫会セミナーや大名刺交換会など現役世代にアピールできる東京校友会のイベントも活用し充実を図りたいと思います。

④毎回総会時に参加者のプロフィールやコメントを載せた参加者名簿を配布しています。すでに5回開催しているので、あちこちで同窓生相互の繋がりができ、公私ともにプラスになっています。

文責／片岡豊司(昭50年・経)



武田薬品工業株式会社

①武同会(ぶどうかい)約80名。

②大きな組織のため全国で顔見知りという同期ぐらしか接点がないという環境下で、同郷というつながりを使って、仲間のセグメントをひとつ増やして仕事を円滑に進めることができます。全国集会の後などに飲み会を企画し団結を深めています。

③口コミでの出身者探しと、万が一連絡したメンバーがこういったつながりに興味ない可能性(ありがたいことに過去同志社出身者にそういう人は今までひとりもいませんでした。)

④メールでの出席確認、規模にあった店選び、その後アトム新聞作成。武同会のメンバーが出世すればみんなでたたえあい、転勤があれば転勤先のつながりを最大限教えあう。会社に帰属しながらサークルに入っているような感覚です。

写真は2015年4月の全国集会後に集まった際のものです。新入社員から地方に配属された若手は、全国に仲間がこんなにもいるということを知りモチベーションアップになったかと思います。

文責／仲井勝人・足立博祐(平12年・工)



全国農業協同組合連合会(JA全農)

①全農同志社会という名称で、首都圏を中心に20名程度が参加しています。

②4年前、同志社OBの若手が開いた数名程度の飲み会がきっかけです。主な活動は不定期に行われる飲み会セミナーです。徐々に参加者が増え、今では新人から管理職まで幅広い世代で親睦を深めています。

③日程調整に苦労しています。参加者は様々な部署や勤務地にいるため、忙しい時期やスケジュール感は様々です。そのため、メールを使って出来る限り大勢の方に参加していただけるよう調整しています。また、新入職員だった頃は、緊張しながら大先輩方に懇親会の案内メールを送信したのを覚えています。

④話題は、やはり学生時代の思い出話。様々な年代の方が参加していますので、京都や同志社の昔と今との違いを発見できるのが面白さの一つです。また、部署が異なれば別会社といつても過言では無いほど、全農には多様な仕事があります。普段は知ることの少ない他業務の話を聞くことができるため、刺激になります。

文責／大田悠司(平23年・法)



株式会社日立製作所

①関東エリア在勤OB・OG約350名。

(現在日立製作所には国内外で約400名のOB・OGが在籍しています)

②以前からエリアごとで小規模な同窓会を開催していたのですが、2012年当時の幹部ご発案により関東エリア在勤者を対象とした「第1回日立クローバー会」を開催しました。常設の同窓会組織ではありませんが、これまで2012年11月(109名参加)と2015年2月(67名参加)に開催しております。

③名簿管理には最大限の注意を払っています。また対象者が多く所属・勤務地も様々である為、会場探しや集客なども大変です。

④出席された皆さんが「出席して良かった!」と仰って下さることが最大の喜びです。また準備期間中に幹事団が何度も顔を合わせることで結束が深まり、今では仕事の関係を超えた繋がりが生まれています。

文責／川上晋(平12年・文)



同志社と同志社東京校友会のあゆみ

東京支部の設立は明治 30 年～同志社社史資料センターの史料調査で明らかに

1875	明治 8	新島襄、官許同志社英学校（同志社大学の前身）開校（寺町通丸太町上ル松蔭町）
1876	9	今出川校地に移転（旧薩摩藩邸跡、5,805.7 坪）
1877	10	同志社分校女紅場（同志社女学校・同志社女子大学の前身）を開設
1885	18	同志社アルムニ会創立（同志社校友会の前身、校友 79 名、出席 22 名）、理事委員海老名彈正他 4 名
1887	20	同志社病院・京都看病婦学校開院・開校
1888	21	「同志社大学設立の旨意」を発表
1890	23	新島襄永眠、同志社校友会創立（卒業生総数 168 名）、初代委員長に加藤勇次郎 校友会が新島先生「紀年資本」募集を決定、全国 14 地区の募集委員を委嘱、ハリス理化学校開校
1891	24	政法学校開校（法学部と経済学部の前身）
1893	26	同志社女学校同窓会創立（創立総会出席 37 名）
1896	29	同志社尋常中学校（同志社中学校の前身）設立
1897	30	出町幼稚園（現・同志社幼稚園）開園、校友会機関誌「校友会報」創刊 校友会規約改正で支部を置くことが規定され東京支部が発足、同窓会東京部会が組織される（会員 21 名）
1901	34	同志社女学校専門学部設置
1904	37	専門学校令による神学校と専門学校を開校、政法学校廃校
1906	39	同志社病院・京都看病婦学校廃院・廃校、ハリス理化学校薬学科廃止
1907	40	校友会本部を校友が最も多い東京に移すことが総会で提案される 東京支部が「同志社維持会」（本部・東京、2 年後に京都へ移転）を設立、12,665 円を集める
1908	41	同志社カレッジソングができる
1912	45	専門学校令による同志社大学（予科・神学部・政治経済部・英文科）・女学校専門学部開校
1915	大正 4	東京支部事務所：東京市麹町三年町 吉川邸（代表幹事：吉川潤一郎）
1920	9	大学令による同志社大学開校（総長・海老名彈正）、文学部（神学科、英文学科、1927 年に哲学科を増設）、法学部（政治学科、経済学科、1923 年に法律学科を増設）、大学院および予科を設ける
1922	11	専門学校令による大学を専門学校として再編成し、神学部、英語師範部、高等商業部（商学部の前身、1931 年に高等商業学校、1944 年に経済専門学校と改称）、政治経済部を置く
1926	15	校友会機関紙「同志社校友同窓会報」創刊
1932	昭和 7	新島会館開館
1934	9	東京支部事務所：東京市品川区大崎 安東邸（代表幹事：安東守男）、東京同志社俱楽部併設
1935	10	東京支部事務所：東京市銀座 8 丁目 民友社内
1940	15	同窓会館開館、新島襄終焉之地碑ができる（神奈川県大磯町）
1941	16	新島襄生誕之地碑ができる（学士会館）
1943	18	中学校令による中学校発足、東京支部事務所：東京市銀座 8 丁目 民友社内
1944	19	工業専門学校開校
1945	20	中学校令による高等女学校開校
1947	22	新学制により中学校、女子中学校発足
1948	23	新制大学開校、神・文・法・経済学部開設、高等学校・女子高等学校・商業高等学校（定時制）開設
1949	24	商学部と工学部を新設し大学は 6 学部となる、女子大学（学芸学部）開校 新学友会発足、校友会機関紙「同志社タイムス」創刊
1950	25	大学院修士課程開設
1951	26	教養学部解散（1948 年 4 月発足）、同志社香里中学校・同高等学校を開校
1953	28	大学院博士課程開設、相撲部全国学生相撲選手権大会団体優勝
1954	29	大学短期大学部を発展的に解消、大学 2 部（4 年制）を設置
1955	30	東京支部事務所：東京都中央区銀座 4 丁目 5-1 聖書館ビル 4 階（学校法人同志社東京分室内）
1960	35	黒岩重吾「背徳のメス」で直木賞受賞
1963	38	大学会館別館開館、礼拝堂（チャペル）が重要文化財に指定される ラグビー部第 1 回日本選手権優勝
1964	39	大学紛争がピークを迎える 映画「愛と死を見つめて」公開（主演：浜田光夫・吉永小百合、ハリス理化学館前でロケ）
1965	40	大学会館本館開館
1967	42	女子大学学芸学部改組、家政学部開設
1972	47	相撲部全国学生相撲選手権大会団体優勝
1973	48	大学新図書館開館（今出川）、江崎玲於奈ノーベル物理学賞受賞
1974	49	京都市電烏丸線廃止、相撲部全国学生相撲選手権大会団体優勝
1975	50	同志社創立 100 周年
1976	51	商業高等学校廃校、京都市電今出川線廃止 道永宏モントリオールオリンピック・アーチェリーで銀メダル
1978	53	有明夏夫「大浪花諸人往来」で直木賞受賞、硬式野球部明治神宮大会初優勝
1979	54	彰栄館・ハリス理化学館・クラーク記念館・有終館が重要文化財に指定される
1980	55	同志社国際高等学校開校
1981	56	京都市営地下鉄烏丸線開業、ラグビー部大学選手権初優勝
1985	60	新島会館開館（建替）、ラグビー部大学選手権 3 連覇

1986	昭和 61	田辺校地（現・京田辺校地）開校、全学部第 1 部 1・2 年次生の授業開始、女子大学短期大学部開設
1988	63	同志社国際中学校開校
1989	平成元	京阪電車、三条一出町柳開業、関東地区名簿刊行（15,000 名収録、B5 判、400 頁、3,000 円）
1990	2	硬式野球部明治神宮大会優勝
1992	4	校友会東京支部機関紙「同志社東京ニュース」創刊、企業内校友クラブのある 35 社に送付して配布
1994	6	奥野史子バルセロナオリンピック・シンクロナイズドスイミングで銅メダル
1995	7	杉浦正則野球で銅メダル
1996	8	工学部を田辺校地に統合移転
1997	9	女子大学家政学部を生活科学部に名称変更
1998	10	東京支部事務所、東京都港区浜松町 1-1-10 須美ビル 2 階 徳弘事務所内に移転
2000	12	杉浦正則アトランタオリンピック・野球で銀メダル 立花美哉シンクロナイズドスイミングで銅メダル
2002	14	大学昼夜開講制を実施、千宗室（15 代）文化勲章受章、東京支部「通信費及び運営・連絡協力費」設置
2003	15	東京支部事務所、東京都渋谷区宇田川町 19-5-101（学校法人同志社東京分室内）に移転
2004	16	東京支部第 1 回「春の集い」
2005	17	女子大学現代社会学部開設
2006	18	校友会ホームページ開設、東京校友会ホームページ「同志社ネット」開設
2008	20	立花美哉シドニーオリンピック・シンクロナイズドスイミングで銀メダル
2009	21	東京支部事務所、東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル ディスカットに移転
2010	22	女子大学短期大学部廃止
2011	23	東京支部の呼称を通称「同志社東京校友会」に変更
2012	24	文学部を文学部と社会学部に改組・再編、文化情報学部開設、女子大学薬学部開設
2013	25	東京支部事務所、東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル ディスカットに移転
2014	26	小学校開校、学研都市キャンパス開設
2015	27	「同志社東京校友会」が正式名称に
		「同志社東京校友会」が正式名称に
		中学校・高等学校統合、多々羅キャンパス開設
		グローバル・コミュニケーション学部開設、国際学院初等部・国際学院国際部開校
		「同志社東京ニュース」を「同志社東京ジャーナル」に改称
		太田雄貴北京オリンピック・フェンシング個人で銀メダル、朝原宣治 4×100m リレーで銅メダル
		山本兼一「利休にたずねよ」で直木賞受賞
		心理学部開設、神学部・社会学部 1・2 年次教育を今出川校地へ、女子大学表象文化学部開設
		「同志社東京校友会」が正式名称に
		中学校・高等学校統合、多々羅キャンパス開設
		グローバル・コミュニケーション学部開設、国際学院初等部・国際学院国際部開校
		「同志社東京ジャーナル」に改称
		鳥丸キャンパス開設、太田雄貴ロンドンオリンピック・フェンシング団体で銀メダル
		グローバル地域文化学部開設、キャンパス再編により全ての学年が一つの校地で学ぶ教学体制完成
		藤野可織「爪と目」で芥川賞受賞
		第 1 回校友会大懇親会「The 1st Grand Reunion」開催
		応援団チアリーダー部全日本学生チアリーディング選手権大会（応援団部門）3 連覇
		女子大学看護学部開設
		東京支部事務所、東京都千代田区内神田 3-22-7 大平ビル 6 階に移転、東京ジャーナル創刊 100 号

【参考資料】「同志社百年史」（1979 年）、「同志社校友会便覧」（1907 年）、関東地区校友名簿（1989 年）
同志社東京ニュース（1990 年創刊号～2011 年 83 号）、同志社東京ジャーナル（2011 年 84 号～2015 年 100 号）
学校法人同志社及び諸学校ホームページ、同志社校友会ホームページ、同志社東京校友会ホームページ他
【作成】新田博伸 【協力】同志社社史資料センター

校友会東京支部・東京校友会 歴代代表者						
1898	明治 31	支部代表	丹羽清次郎	1965	昭和 40	支部長
1907	40	代表幹事	徳富猪一郎（蘇峰）	1975	50	田島弘一郎
1915	大正 4	〃	吉川潤一郎	1986	61	津下統一郎
1934	昭和 9	〃	安東守男	1995	平成 8	徳弘勢也
1935	10	〃	三宅驥一	1998	10	太田文雄
1943	18	支部長兼代表幹事	秦孝治郎	2002	14	西村四郎
1950	25	〃	田島弘一郎 高島吉郎 平山秀雄 一木実也	2005	17	堀内陽二
1955	30	支部長	菅 琴二	2007	19	雲川俊夫
1958	33	〃	峰岸次郎 原田 健	2011	23	木村昌平
						児玉正之

【参考資料】関東地区校友名簿（1989 年）、同志社東京ニュース（1990 年創刊号～2011 年 83 号）
同志社東京ジャーナル（2011 年 84 号～2015 年 100 号）
【作成】新田博伸

同志社東京ニュース・東京ジャーナル 100号のあゆみ

【作成】新田博伸

号	発行年月日	頁	主 要 記 事
1	1990 平成 2 2月22日	4	発行の辞(徳弘勢也支部長)、フェンシング部優勝祝勝会、二九会、編集人 西村四郎
2		5月1日	4 平成2年総会・合同懇親会、新島襄素描、キャンパスからの便り、同窓会東京支部
3		8月1日	4 平成2年同窓会東京支部総会、新島襄先生永眠百周年記念講演会と懇親会の夕べ、俳画
4		11月20日	4 今シーズンの同志社ラグビー、新島襄素描、マンドリンクラブ東京公演、東京若手会
5	1991 平成 3 2月13日	4	野球部日本一!!、平成2年度イヴ講演会・懇親会、TOKYO OG、東京37会発足
6		5月1日	4 平成3年総会・合同懇親会、大磯碑前祭、キャンパスからの便り、フライヤー・クラブ
7		8月1日	4 平成2年度同窓会東京支部総会、二九会、三一会、ESS東京遠征、東京クローバークラブ
8		11月1日	4 常任理事・理事・幹事合同会議、新島襄先生終焉の碑、文学部会、東京同風会(S23卒の会)
9	1992 平成 4 2月15日	4	平成3年度イヴ講演会・懇親会、昭和29年東京同期生会、新島襄帰宅記念祭、関東36会
10		5月1日	4 平成4年度支部総会・懇親会、大磯碑前祭、日本拳法部、キャンパスからの便り、東京37会
11		8月1日	4 平成4年度同窓会支部総会、京都のかくれ寺、ESS・ディスカッションセクションOB会
12		11月1日	4 平成4年度常任理事・理事・幹事合同会議、神奈川支部活動報告、東京31会、茶道部茶会
13	1993 平成 5 2月10日	6	新島襄生誕150年記念講演会・懇親会、新島先生と鎌倉の海浜院、東京支部5年間のあゆみ
14		5月1日	4 新島襄生誕150年記念会・平成5年度支部総会、東京31会・女子大学同期会合同懇親会
15		8月1日	4 生誕150年記念「新島襄の生涯」展、同窓会支部総会、小津の間法使い(藤木 悠)
16		11月1日	6 松山総長三選就任記念講演会・祝賀会、常任理事・理事・幹事合同会議、群馬県支部報告
17	1994 平成 6 2月23日	6	平成5年度イヴ講演会・懇親会、松山総長三選記念講演、ゴルフクローバー会再開
18		5月1日	6 平成6年総会・合同懇親会、金野滋氏叙勲祝賀会、アメリカツアーレポート
19		8月1日	4 平成6年度同窓会支部総会、岡仁詩教授「同志社ラグビー」講演会、東京支部新役員紹介
20		11月1日	4 常任理事・理事・幹事合同会議、東京ニュース創刊20号を迎えて、キャンパスからの便り
21	1995 平成 7 2月21日	4	イヴ講演会・懇親会、新島襄足跡ツアーや、東京新島講座、埼玉県支部・神奈川県支部総会
22		5月1日	4 平成7年度合同懇親会、新島学園に「良心の碑」建立、阪神大震災チャリティーコンサート
23		8月1日	4 平成7年度同窓会支部総会、チャック・ウィルソンさん講演会、各界で大活躍の同志社OB
24		11月1日	4 東京支部の会則改正を検討~常任理事・理事・幹事合同会議、新島先生足跡ツアーや
25	1996 平成 8 2月20日	4	感動の友情が導くメサイア、相撲界に旋風を巻き起こす男~土佐ノ海、神奈川合同総会
26		5月1日	4 支部会則を改正、新支部長・役員を選出~総会・合同懇親会、太田新支部長挨拶
27		8月1日	6 平成7年度同窓会支部総会・懇親会、グループ制新組織を決定、伊勢ノ海部屋千秋楽の夕べ
28		12月	4 2色印刷・横書き・左開きに変更、支部活動、トピックス、編集人中出外史朗、編集後記
29	1997 平成 9 6月	4	支部総会・懇親会、新副支部長選任、同志社東京自由懇話会、大磯碑前祭、大学院教育
30		10月	4 「通信費及び運営・連絡費」設置(年2,500円)、50回目を迎えた洛紫DDT会、お店紹介
31	1998 平成 10 2月	4	'98同志社東京・春の集い告知、同期会やサークルが活発に活動、伊勢ノ海部屋祝賀会
32		5月	4 同志社東京・春の集い、懇親会の自主講座、八田新学長が就任、東京講座開講
33		8月	4 西村四郎新支部長就任挨拶、東京支部事務局渋谷へ移転、放送アドクラブ、政法会支部発足
34		11月	4 大淀園に化粧廻し贈呈、関東各支部総会盛況、千葉支部設立、東京クローバークラブ演奏会
35	1999 平成 11 2月	4	総会・評議員会迫る、各サークル活発に活動を展開、「98リユニオン」、編集人 渡邊浩志
36		5月	4 '99同志社東京・春の集い、30会・33会誕生、31会・37会総会、東京講座受講生募集
37		8月	4 懇親会開催、東京支部事務局渋谷へ移転、放送アドクラブ、政法会支部発足
38		11月	4 東京新島講座公開講演会、群馬県支部・千葉支部・神奈川支部総会、放送アドクラブ懇親会
39	2000 平成 12 2月	4	2000同志社東京・春の集い近づく、埼玉県支部総会、新島襄終焉碑前祭、生誕碑前祭
40		5月	4 2000同志社東京・春の集いに500名参加、タイムファイブ芸術選奨文部大臣賞受賞
41		8月	4 安中・伊香保ツアーオーへのお誘い、東京支部ホームページ開設、クローバークラブコンサート
42		11月	4 同志社東京エグゼクティブの集い、安中・伊香保ツアーや、ホームカミングデー
43	2001 平成 13 2月	4	2001同志社東京・春の集い告知、新島襄先生永眠111周年碑前祭、二七会270回目の集い
44		5月	4 2001同志社東京・春の集い、土井たか子議員講演、早稻田とのエール交換
45		9月	4 堀内陽二支部長代行就任、ESS東京OB・OG会、山岳会エベレストへの挑戦
46		11月	4 評議員任期満了改選迫る、秋期講座開催、D・C・グリーン宣教師墓前礼拝、千葉支部総会
47	2002 平成 14 3月	6	堀内陽二支部長選出、新島襄終焉の地碑前祭、生誕碑前祭、東京エグゼクティブの集い
48		6月	6 2002同志社東京・春の集い、同志社校友会首都圏協議会発足、東京歩こう会発足
49		9月	6 ①活動拠点の確保、②財政基盤の確立、③「出会いの場」づくり、④情報発信の促進が急務
50		12月	6 東京エグゼクティブの集い、事務所が日本橋へ移転、50号特別企画「これからの同志社大学」

号	発行年月日	頁	主 要 記 事
51	2003 平成 15 3月	8	平成15年評議員会・総会、伊勢ノ海部屋千秋楽打ち上げ会、同窓会東京の集いスタート
52		6月	6 2003同志社東京・春の集い、アーモスト大学合唱団来日歓迎会、ホームページリニューアル
53		9月	8 東京支部名簿づくり進む、若手座談会「同志社で学んだこと、校友会について」
54		12月	8 同志社東京エグゼクティブの集い、東京支部名簿刊行、通信協力会員1,000名に到達
55	2004 平成 16 3月	8	2004同志社東京・春の集い告知、春の集いに寄せて、平成16年評議員会・総会、埼玉支部総会
56		6月	8 2004同志社東京・春の集い、39会・40会スタート、信用格付評価〈AA+〉を獲得
57		9月	8 東京若手会・同志社香里同窓会東京支部設立、東京リエゾン(産官学連携活動)オフィス開設
58		12月	8 同志社東京エグゼクティブの集い、同志社ワイン登場、谷口徹ゴルフ・日本オープン優勝
59	2005 平成 17 3月	8	新体制発足、雲川俊夫支部長就任、理事の呼称を幹事に、常任幹事会を新設
60		6月	8 2005同志社東京・春の集い、首都圏若手会に116名、34会・41会・42会誕生、小林事務局長退任
61		9月	8 同志社東京・古希と喜寿の集い、春の集い一等賞「サッポログルメ旅行記」、新島研究会発足
62		12月	8 東京エグゼクティブの集い、千葉支部総会、すみれ亭句会、関西4大学学長フォーラム
63	2006 平成 18 3月	8	雲川体制2年目スタート、41会発足、R・E・クローバー俱楽部発足、新作能「庭上梅」初演
64		6月	8 2006同志社東京・初夏の集い、藤木悠君を偲ぶ会、同志社ラグビーだより、東京新島研究会
65		10月	8 同志社東京・古希と喜寿の集い、海老名弾正祭、司法試験合格者大学別ランキング8位
66		12月	8 東京エグゼクティブの集い、スポーツユニオン関東支部総会、東京弓友会京大と懇親会
67	2007 平成 19 3月	8	木村昌平支部長就任、アメリカンフットボール部OB会、茶道部OB・OG会
68		6月	10 2007同志社東京・春の集い、同志社東京音頭、特別協力会員・評議員・幹事名簿
69		9月	8 同志社大学東京フォーラム告知、46会・48会結成、ホームカミングデー、「庭上梅」東京公演
70		12月	8 特色刷色変更、同志社大学東京フォーラム告知、32会・45会・47会発足
71	2008 平成 20 3月	8	縦書き・右開き・表裏表紙4色刷りに変更、同志社大学東京フォーラム、編集人 編集委員会
72		6月	8 2008同志社東京・春の集い、サークル・年次会だより、早稲田と同志社展、新島襄の言葉
73		9月	8 東京エグゼクティブの集い・東京フォーラム近づく、校友の北京オリンピック
74		12月	8 東京エグゼクティブの集い、新島研究会アメリカ紀行、同志社ゆかりの地を訪ねて
75	2009 平成 21 3月	8	木村昌平会長再任、同志社大学東京フォーラム、終焉之地・生誕之地碑前祭、平成の声
76		6月	8 2009同志社東京・春の集い、神奈川支部「新島襄と日本の近代化・横浜開港」開催
77		9月	8 イエール・同志社交流会、50年会・53年会デビュー、洛紫会・ビジネス交流会、校友の店
78		12月	8 東京エグゼクティブの集い、支部だより、さまざまな秋、新島襄の足跡を訪ねて
79	2010 平成 22 3月	8	平成21年度総会・重点施策、映画研究会「映像で綴る同志社の昭和史」DVD化
80		6月号外	8 2010同志社東京・春の集い、年次会・総会花盛り、硬式野球部13季ぶり23回目のリーグ戦優勝
81		9月	2 単色刷り、全日本大学野球選手権大会・硬式野球部・堂々のベストエイトに、祝勝会・激励会
82		12月	8 同志社キャンパスフェスタ告知、同志社スポーツ「春の総括」、座談会「同志社に期待する」
83	2011 平成 23 3月	8	同志社キャンパスフェスタ東京、総会だより、年次会・サークルだより、同志社多士済々
84		6月	8 児玉正之会長就任、東京エグゼクティブの集い、創立135周年記念・大谷総長特別講演会
85		9月	8 東京ジャーナルに名称変更、東日本大震災募金報告、紙面刷新特集、編集人 藤田昇良
86		12月	8 同志社キャンパスフェスタ東京とは、2013年の大河ドラマに「八重の桜」、同志社 WALKER
87	2012 平成 24 3月	12	特別協力会員・秋の集い、東日本被災地出身在校生募金、同志社キャンパスフェスタ東京
88		7月	12 評議員会・総会、新連載「片桐家同志社五代記」、初夏の集い告知、土佐ノ海引退大相撲
89		10月	12 同志社東京・初夏の集い、同志社スポーツ・ロンドン五輪特集、宮本慎也選手2,000本安打
90	2013 平成 25 1月	16	誌面刷新・中綴じ・建物を表紙に、特別協力会員の集い告知、ロンドン五輪の健闘を讃える会
91		4月	16 新年ご挨拶、チアリーディング3冠達成、茨城県支部・山梨県支部設立、ぶらり探訪総集編
92		7月	12 総長・学長より東京校友会の皆様へ、新連載「今出川四季」、2013年度活動計画、八重の桜
93		10月	12 2013同志社東京・春の集い、北濃登美男代表幹事日本300名山完登、第百回東京二九会
94	2014 平成 26 1月	16	水谷誠新理事長挨拶、東京クロストーク、全日本フェンシング選手権大会個人の部優勝
95		4月	12 新年ご挨拶、特別協力会員の集い、支部活動(学部・県支部)、大懇親会告知
96		7月	12 総会・評議員会、第1回校友会大懇親会、同早定期野球戦復活、編集人代行片桐陽
97		10月	12 2014同志社東京・春の集い、同志社大学東京オフィス開所式、編集人片桐陽
98	2015 平成 27 1月	16	幹事会・評議員会、東京クロストーク、同志社大学東京オフィス紹介、49会・52会発足
99		4月	12 新年ご挨拶、支部活動、大懇親会、ホームカミングデー、特別協力会員の集い、産官学連携オフィス
100		7月	12 総会・評議員会、新ビジネスフォーラム、新島襄ゆかりの地レポート、洛紫会女子部発足

校友紹介・校友訪問

同志社東京ニュースと東京ジャーナルに掲載された記事を一覧表にまとめてみました

号	発行年月	記事	校友氏名	卒業年学部	プロフィール（記事掲載時）
1	1990 平成 2	2月			
2		5月			
3		8月	私の学生時代	津下統一郎	大 15 経
4		11月	"	"	元支部長、元キリスト教奉仕団理事長
5	1991 平成 3	2月	"	徳弘勢也	昭 21 経
6		5月	"	"	支部長、元千代田化工建設副社長
7		8月			"
8		11月	追悼	松村博一	昭 22 経
9	1992 平成 4	2月	"	平山秀雄	昭 12 高商
10		5月	役員紹介	小出力三郎	昭 17 法
11		8月	"	河合佐一郎	昭 28 文
12		11月	校友紹介	黒田 寧	昭 13 高商
13	1993 平成 5	2月	同窓紹介	森本潤子	昭 38 女英
14		5月	会員紹介	木津 徹	昭 52 文
15		8月	追悼	中村忠三	昭 27 法
16		11月	同窓紹介	若柳 庸	女学芸
17	1994 平成 6	2月	校友紹介	松井 隆	昭 55 文
18		5月	"	本田正明	昭 30 経
19		8月	"	太田文雄	昭 21 経専
20		11月	"	八木政三	昭 20 法
21	1995 平成 7	2月	"	西村四郎	昭 23 経
22		5月			
23		8月			
24		11月	校友紹介	中分 亨	昭 28 経
25	1996 平成 8	2月	"	中原利明	昭 55 法
26		5月	新支部長紹介	太田文雄	昭 21 経専
27		8月			
28		12月	O B 訪問	立石信雄	昭 34 文
29	1997 平成 9	6月	"	金野 滋	昭 22 法
30		10月	追悼	津下統一郎	大 15 経
30		O B 訪問		尾野 博	昭 38 経
31	1998 平成 10	2月	"	嶋 雅二	昭 32 経
32		5月	"	堀内陽二	昭 30 経
33		8月	"	富本善久	昭 37 商
34		11月	"	二谷英明	昭 37 文中退
35	1999 平成 11	2月	"	加藤湘三	昭 27 商
36		5月	"	福山哲郎	昭 61 法
37		8月	"	佐藤 優	昭 60 院神
38		11月	"	小瀬 真	昭 44 商
39	2000 平成 12	2月	"	タイムアライ	昭 42 ~ 44
40		5月	"	吉岡大樹	昭 38 商
41		8月	"	笹野貞子	昭 34 院法
42		11月	"	廣田隆一郎	昭 34 商
43	2001 平成 13	2月	"	大久保利次郎	昭 45 工
44		5月	"	宇治郷 育	昭 43 院法
45		8月	"	小野 憲	昭 30 商
46		11月	"	大野長八	昭 46 法
47	2002 平成 14	3月	"	中村うさぎ	昭 55 文
48		6月	"	西村四郎	昭 23 経
49		9月	"	平川理恵	平 3 文
50		12月	"	伊藤雅仁	平 3 商
51	2003 平成 15	3月	"	久楽迎古	昭 40 法
52		6月	"	保阪正康	昭 38 文
53		9月	"	中島美子	昭 44 文
54		12月	"	池谷 薫	昭 57 文
55	2004 平成 16	3月	"	村田士郎	昭 31 経
56		6月	話題の校友	小野華優	昭 37 文

号	発行年月	記事	校友氏名	卒業年学部	プロフィール（記事掲載時）
56	2004 平成 16	6月	O B 訪問	村井宗明	平 9 法
57		9月	話題の校友	小川彩子	昭 35 女学芸
57		12月	O B 訪問	黒木和雄	昭 29 法
58		3月	話題の校友	今村純二	昭 36 商
58	2005 平成 17	6月	O B 訪問	松本信彦	昭 63 商
59		9月	話題の校友	本田正明	昭 30 経
59		12月	O B 訪問	森岡正宏	昭 41 経
60		3月	話題の校友	来代勝彦	昭 44 法
60		6月	"	関口太一	平 11 法
60		9月	O B 訪問	宮崎 豊	昭 54 商
61		12月	追悼	中川靖雄	昭 36 工
61		3月	O B 訪問	知識賢治	昭 60 法
62		6月	追悼	伊藤義清	昭 33 院神
62		9月	O B 訪問	石村繁一	昭 51 工
63	2006 平成 18	3月	"	吹田明日香	昭 63 文
64		6月	追悼	藤木 悠	昭 29 文
64		9月	O B 訪問	播島幹長	昭 33 経
65		10月	"	木村政雄	昭 44 文
66		12月	"	小川和久	昭 44 神
67	2007 平成 19	3月	"	辻本秀幸	昭 61 工
68		6月	"	小貫岩夫	平 4 神
69		9月	"	吉田雅紀	昭 51 商
70		12月	"	福本武久	昭 40 法
71	2008 平成 20	3月	校友訪問	吉川沙織	平 11 文
72		6月	"	小島 弘	昭 40 経
73		9月	"	野坂弦司	昭 34 経
74		12月	"	山田厚史	昭 46 法
75	2009 平成 21	3月	校友の話題	西村四郎	昭 23 経
76		6月	校友訪問	宇都宮優子	昭 54 法
77		9月	話題の校友	来代勝彦	昭 44 法
77		"	校友訪問	関口太一	平 11 法
77		"	校友訪問	井坂 紘	昭 39 経
78		12月	"	魚谷雅彦	昭 52 文
79	2010 平成 22	3月	校友訪問	田島一成	平 12 院総政
80		6月	"	月森砂名	昭 58 文
81		9月	"	石田芳弘	昭 44 商
82		12月	"	宮本慎也	平 5 商
84		6月	校友訪問	廣野華奈子	平 23 商
84		9月	新卒会員紹介	支倉 清	昭 48 法
85		12月	校友訪問	小山田貴幸	平 23 法
85	2011 平成 23	3月	新卒会員紹介	立川親方	平 6 商
86		6月	校友訪問	刑部敬太	平 23 文
86		9月	新卒会員紹介	片桐 陽	昭 42 工
87	2012 平成 24	3月	校友訪問	牧野 靖	昭 31 商
88		7月	"	青木重之	昭 53 経
89		10月	"	寒河江 正	昭 32 文
90	2013 平成 25	1月	"	河本宏子	昭 54 文
91		4月	"	佐々木實穂子	昭 41 文
92		7月	"	藤田 薫	昭 47 文
93		10月	"	山下春子	昭 55 経
94	2014 平成 26	1月	"	島田久仁彦	平 10 法
95		4月	"	魚谷雅彦	昭 52 文
96		7月	"	福田三千男	昭 44 商
97		10月	"	植野伸一	昭 51 商
98	2015 平成 27	1月	"	栗田千寿	平 9 商
99		4月	追悼	土井たか子	昭 31 院法
99		7月	校友訪問	結城哲彦	昭 33 法
100		"			

同志社東京校友会 懇親会と春の集い

開催年月日	名 称	テー マ・主な講演・ゲスト	会 場
1975 昭和 50 10月30日(木)	総会・合同懇親会	同志社創立百周年記念	新橋第一ホテル
1976 51 11月5日(金)			帝国ホテル
1977 52 11月12日(土)	合同懇親会		
1978 53 11月7日(火)			
1979 54 11月20日(火)			
1980 55 11月15日(土)			
1981 56 11月13日(金)			
1982 57 11月16日(火)			
1983 58 11月30日(水)			
1984 59 11月15日(木)			
1985 60 11月14日(木)	総会・合同懇親会		
1986 61 11月8日(土)	合同懇親会		
1987 62 11月11日(水)			銀座東武ホテル
1988 63 12月14日(水)	総会・合同懇親会	【昭和天皇体調悪化による自粛ムードのため延期】	
1989 平成元 2月15日(水)			ホテルオークラ
1990 2 2月22日(木)		大野エリ(ジャズ・ボーカリスト)	
1991 3 2月13日(水)		宇野裕子(サザエさんテーマソング歌手)	
1992 4 2月18日(火)			
1993 5 2月12日(金)		新島襄生誕百五十周年記念 江崎玲於奈(ノーベル物理学賞受賞者)	学士会館
1994 6 2月23日(水)		(6月講演会)岡仁詩(ラグビー部長)	ホテルオークラ
1995 7 2月21日(火)		(6月講演会)チャック・ウィルソン	
1996 8 2月20日(火)		土佐ノ海	
1997 9 2月23日(日)	総会・懇親会		
1998 10 3月29日(日)	春の集い	海と緑、そして光と共に 山田厚史(朝日新聞編集委員)、小川和久	ホテルインター コンチネンタル 東京ベイ
1999 11 4月17日(土)		まばゆい光を前に 佐藤優(外務省国際情報局)	ホテルオークラ
2000 12 4月15日(土)		春爛漫 ミレニアム礼賛 同志社満開 江崎玲於奈(ノーベル物理学賞受賞者)	恵比寿ガーデン プレイス
2001 13 4月21日(土)		新世紀元年ー共生、そして、共鳴ー ^ー 土井たか子(衆議院議員)	リーガロイヤル ホテル早稲田
2002 14 4月27日(土)		融和と協調、そして共歩 小川和久(国際政治・軍事アナリスト)	経団連会館
2003 15 5月24日(土)		混迷の時代を切り開く同志社スピリット 八田英二学長、タイムファイブ	東京會館
2004 16 5月22日(土)		共に確かな未来へ 保阪正康(ノンフィクション作家)	
2005 17 5月21日(土)		今こそ共に、再び良心を前身に充満(チャージ)しよう 中西哲生(スポーツジャーナリスト)	
2006 18 6月3日(土)	初夏の集い	櫻井よしこ(ジャーナリスト)	ロイヤルパーク ホテル
2007 19 5月12日(土)	春の集い	万紫千紅 共助・共楽 田原総一朗(ジャーナリスト・評論家)	
2008 20 5月17日(土)		星野仙一(野球五輪日本代表監督)	
2009 21 5月16日(土)		今こそ、同志社の原点~良心~が生きる季 鹿野嘉昭(同志社大学経済学部長)	
2010 22 5月16日(日)		さらなる絆・新たなる縁(えにし) 村田晃嗣(同志社大学法学部教授)	
2011 23 5月21日(土)		【東日本大震災のため中止】 内藤正典(同志社大学大学院教授)	
2012 24 6月17日(日)	初夏の集い	同志社ルネッサンス 未来を拓く同志社精神の復興 内藤正典、内藤慎介(NHKプロデューサー)	
2013 25 5月19日(日)	春の集い	輝ける未来へ羽ばたけ 同志社精神 ハンサムカップル~襄と八重 福本武久(作家)、大八木淳史(ラグビー元日本代表)	
2014 26 5月25日(日)		「同志社グローバリズム」 一国の良心、世界の"RYOSHIN" 村田晃嗣学長、宮本慎也(野球解説者)	
2015 27 5月24日(日)		DOSHISHA ON MY MINDー我が心の同志社ー ^ー 中村うさぎ(作家)、有栖川有栖(作家)	

(注) 合同懇親会=校友会と同窓会の合同懇親会 【参考資料】関東地区校友名簿(1989年)、同志社東京ニュース(1990年創刊号~2011年83号)
同志社東京ジャーナル(2011年84号~2015年100号)、同志社東京校友会ホームページ【作成】新田博伸

企業内校友クラブ(クローバー会)

※「同志社OBが健闘する企業」等として紹介

号	発行年月日	名 称(記事掲載時)	会員数	記 事
1	1990 平成2 2月 2日	東芝クローバー会	247	社内のビッグ3(早・慶・明)に次ぐ規模
2	5月 1日	日興同志社会	314	1984年(昭和59年)に結成、6年目
3	8月 1日	朝日生命クローバー会	約110	社内のビッグ5(早・慶・明・中央・同)
4	11月20日	日立東京クローバー会	約250	出席者90名、昭和30年代より続いている
4	〃	※伊藤忠商事	149	東京地区65名
5	1991 平成3 2月13日	明治生命クローバー会	100超	関東地区約40名、関西地区約30名
6	5月 1日	トーメン東京クローバー会	132	社内では早・慶に次ぐNo.3
8	11月1日	※株式会社日本旅行	102	東京約20名
9	1992 平成4 2月15日	※住友スリーエム株式会社	51	関西の大学ではトップ
10	5月 1日	※鹿島株式会社	52	東京約19名
11	8月 1日	日本信託銀行クローバー会	41	8年ほど前に発足
11	〃	※(株)ホーネンコーポレーション	12	嶋社長がOB、旧社名 豊年製油株式会社
12	11月 1日	日興クローバー会	332	出席者約80名
13	1993 平成5 2月10日	安田生命クローバー会	100余	出席者32名、新入社員歓迎会と忘年会を実施
14	5月 1日	※大王製紙株式会社	80	井上副社長がOB
16	11月 1日	日立東京クローバー会	300	参加者80余名
16	1994 平成6 2月23日	東洋エンジニアリングクローバー会	15	15名のうち13名がエンジニア
17	5月 1日	※千代田化工建設株式会社	24	徳弘東京支部長(元副社長)がOB
18	1994 平成6 5月 1日	※株式会社リクルート	132	社内では早・慶・神戸に次ぐNo.4
19	8月 1日	高島屋関東同志社会	40	社内では早・慶を遙かに超えてNo.1(332名)
20	1995 平成7 11月 1日	近畿日本ツーリスト	124	玉中副社長がOB
21	2月21日	第一勵業銀行クローバー会	26	鈴木常務がOB、松下グループ
22	5月 1日	※山一証券	129	参加者約50名、銀行OBも多数参加
23	8月 1日	日本電気株式会社(NEC)	155	首都圏約70名、東京クローバー会再開計画中
24	11月1日	日鐵商事東京クローバー会	240	クローバー会発足計画中
27	1996 平成8 8月 1日	※帝人株式会社	45	東京本社20名、新日鐵グループの中核商社
96	2014 平成26 7月	損保ジャパン・日本興亜クローバー会	75	年1回OB会を開催
97	10月	武田薬品工業「武同会」	9月1日合併、年2回開催、参加者約40名	
98	2015 平成27 4月	J A全農同志社会	2011年発足、広報紙を発行	
100	7月	日立クローバー会	東京在住職員中心、参加者10名	
			約400	関東地区約350名、参加者67名

1995年(平成7年)2月2日 東京支部常任理事会と各企業連絡係との懇談会参加企業(14社)

東芝、日立、日本電気、明治生命、朝日生命、第一生命、安田生命、住友生命、大同生命、野村證券、大和証券、三菱銀行、第一勵業銀行
【作成】新田博伸



△展開され、大変に楽しい講演会となりました。

同志社創立140周年記念 ～ゆかりの地に集う～ 同志社フェア in 安中

同志社創立140周年記念として8月30日、31日に新島襄ゆかりの地、群馬県安中市で同志社フェアが開催されました。

第二部は新島学園聖歌隊によるコーラスとベル演奏に続き、同志社グリークラブによるコンサートが催されました。その後は、会場を並木苑に移して、交流セッションが盛大に行われました。

アメリカから帰国した新島襄は、帰国第一声をこの安中で放ち、キリスト教宣教活動と学校設立の夢の実現に向け行動を開始しました。そんな、新島襄ゆかりの地での同志社フェアには、全国から約300名の校友が新島学園礼拝堂に集いました。

第二部では村田学長の講演会が行われました。題目は、「バツク・トウ・ザ・フェューチャー 2015」

1985年制作の映画が予測した未来の時代が今年の2015年。映画では車は空を飛んでいますが、まだ空飛ぶ車はできていません。しかし、携帯電話は映画の中では想像すらされていません。

20年後、30年後の未来予測が難しいなら、いたずらに悲観的になる必要はないという話から、からの同志社大学の話



ゆかりの地ツアーニュ島旧宅

文責／作村満明（昭52年・法）
写真／新田博伸（昭52年・法）

31日は、時々小雨の降る曇天でしたが、新島襄ゆかりの地ツアーマチ歩きが行われました。

参加者は、新島襄と安中

の深いつながりに改めて思いを馳せました。

101号は「創刊100号突破記念特大号」として発行します。

児玉会長の発案で、101号は、大学・東京校友会の140

年の歴史を見直す内容に特化しました。また、年表その他の資料も盛り込み、24ページの永久

保存版として編集しました。

平成2年2月22日に西村四郎

初代編集長のもと東京ニュース

が創刊されて以来、途中から東

京ジャーナルと名称は変えたも

の、実に25年間の歴史を刻ん

で来ました。四半世紀にわたり

発行し続けられたのは、それに

携わる多くの編集担当者は勿論

京ジャーナルと名称は変えたも

の、実に25年間の歴史を刻ん

で来ました。四